

歯科衛生士の復職支援

愛知学院大短期大学部（名古屋市千種区）が、中部地方で初めてとなる歯科衛生士のリカレント教育（学び直し）を始めた。いったん離職して復職を望む人や、より専門的な知識を求める人など、20～50代の約30人が受講している。（芦原千晶）

愛知学院大短大部「研修センター」始動

高齢者の口腔ケア貢献めざす

高齢化で口腔ケアの重要性が増す中、歯科衛生士のここ数年の求人倍率は約二十倍で、慢性的に不足している。一方、歯科衛生士の資格を持つ人のうち、実際に働いているのは五割弱で、離職者の復職支援や離職防止が課題となっていた。

同短期大学部は昨年創立七十を迎え、歯科衛生士教育でも五十年以上の歴史があり、復職支援などを促す国の事業の実施団体に選ばれた。昨年十月に「歯科衛生士リカレント研修センター」を設け、口腔ケアを学び直すコースと、高齢者への高度なケアが学べるコースを開講。定員の計三十人に対し、八十人の応募があったという。

歯科衛生士への復職などを支援するリカレント教育の授業。名古屋千種区の愛知学院大短期大学部で

